

当ガイドは、釣行に「必要な小物」から「準備と注意点」、「コツ」を紹介。一度通して読んで、万全な状態で釣りに出掛けましょう!!

★出掛ける前に必要な小物を購入

お買い物リスト

道糸 0.8～1号

しなやかで伸びがあるナイロンラインを使います。糸がどこにあるかが一目瞭然のカラー糸をオススメします。

マルカン 2～3個

直径5mm程度の大きさをチョイスしましょう。なお、12号前後のヨリモドシでも代用が利きます。

ボール 1個

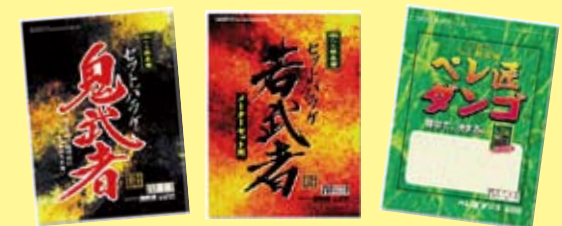
エサやバラケ（寄せエサ）の保管には、ボールを使います。粘りつかないステンレス製が理想的です。

食わせエサ スティックウドン 1パック

通常はウドンエサを使います。好きな大きさにカットしてすぐに使える「スティックウドン」をオススメします。

バラケエサ 配合エサ 3つ

配合エサをブレンドしてバラケエサを作り、集魚効果を高めます。実績がある「ベレ匠ダンゴ」「セットバラケ鬼武者」「セットバラケ若武者」を各1袋用意しましょう。



ゴム管 2～3個

切って使えるチューブタイプがお財布に優しく、1cm程度に切って使います。止めるウキの軸に合ったものを選びましょう。

オモリ 板オモリ1枚

厚さ0.25mmのタイプを使うのが一般的です。

座ぶとん 1つ

じっくり長時間の釣りになるので、座ぶとんが必需品です。

釣行前日までに準備!
疑問があったら釣具店に!!

ヘラウキ 3タイプ



ヘラブナ釣りで最重要パーツ（浮力調整を参照）となります。まずは浮力が異なる、浅ダナ用、深ダナ用、底釣り用の3タイプを用意しましょう。

仕掛け（ハリス付きのハリ）

2種類あると有利

ハリス0.4～0.6号で、スレバリの5～6号を使うのが一般的で、魚の大きさやエサの食い方でサイズを変えます。1つに10本程度の仕掛けが入っているので、1度購入すれば2、3度釣行できます。

★釣るための準備

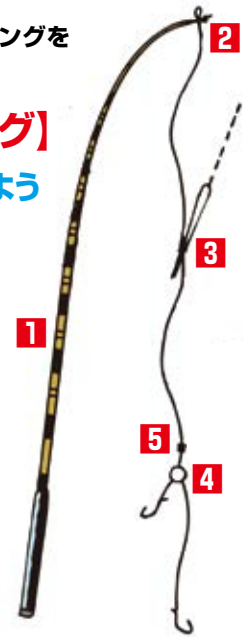
釣具の特徴と正しいセッティングをマスターして快適な釣行を!

【釣具のセッティング】

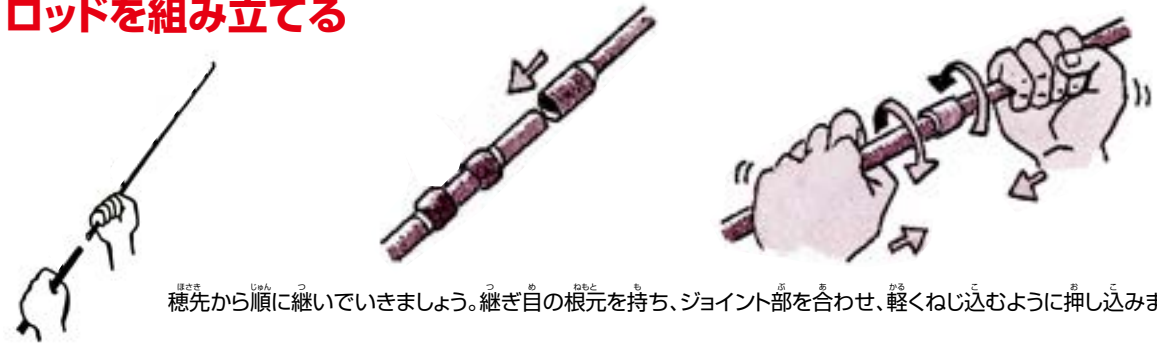
1～5の順でセッティしよう

作業は、まずロッドをつなぎ、道糸を穂先に結びます。続いて、道糸と仕掛けをマルカンでつなぎ合わせるだけです。

※なお、穂先（先端部）はデリケートなので、やさしく扱きましょう!



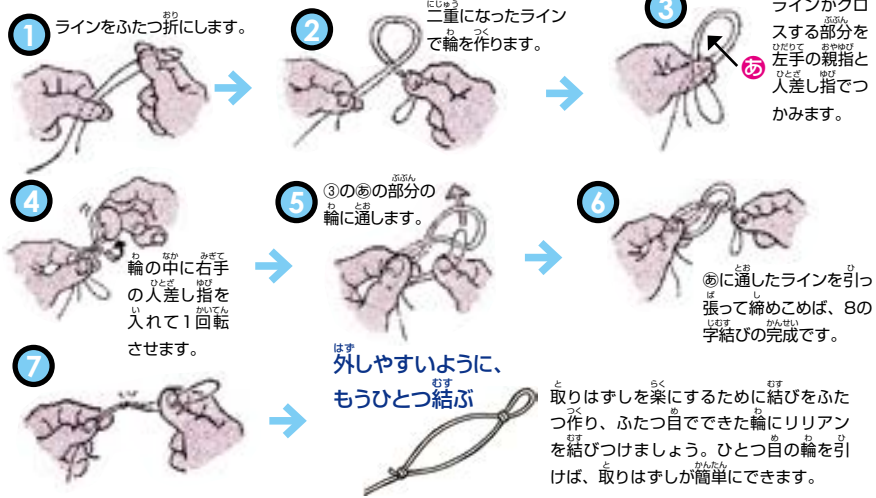
1 ロッドを組み立てる



穂先から順に継いでいきましょう。継ぎ目の根元を持ち、ジョイント部を合わせ、軽くねじ込むように押し込みます。

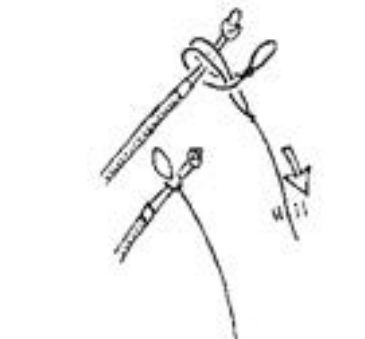
2 穂先に道糸の先端を結ぶ

① 道糸に8の字結びのチチ輪を2つ作る



② 穂先にあるリアンに結ぶ

① 8の字結びで作った輪の中に、道糸の本線を通し、イラストのように穂先に付いているリアンを入れます。



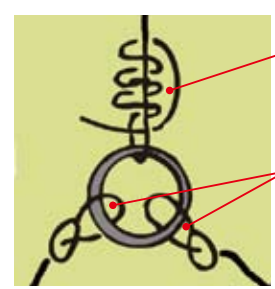
② リアンの先端を持ち、本線を下に引くと結べます。道糸を外す時は、先端の輪を引きましょう。

3 ヘラウキをセッ



道糸にゴム管を通し、そのゴムにウキの軸を差し込みます。ちなみに最初にセッとする位置は、ヨリモドシの上50～60cmで、そこからタナを探り始めます。

4 マルカン(またはヨリモドシ)に道糸、仕掛けを結ぶ



クリンチノット（ゴールドマニュアルブックP29参照）で結ぶ。

仕掛けの先端を8の字結びのチチ輪を作り、リアン同様に結びます。

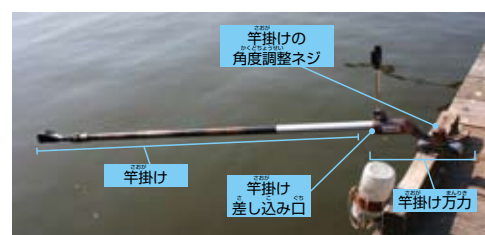
5 最後に板オモリを付ける



ハサミで台形に切って道糸に巻きつけると剥がす時に楽です。通常はマルカン（またはヨリモドシ）の上にセッします。

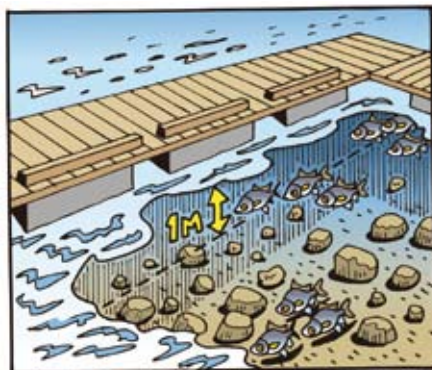
◆竿掛けと竿掛け万力のセッ法

竿掛け万力を釣り座の先端部にある杭に固定（ネジ式）し、竿掛けを万力の先端部の差し込み口に入れ、こちらネジを締めて止めます。最後に竿掛け万力中央のネジで竿掛けの角度を調整します。なお角度は、竿を掛け、竿先が水面に入るくらいが理想的です。



※裏面は、釣るためのテクニックを紹介!!

管理釣り場はセット釣りで勝負



入門者は、魚が大量に放流されていて、何よりタナがハッキリしている管理釣り場からスタートしましょう。仕掛けは、上バりに集魚効果を高めるバラケエサ（寄せエサ）。そして下バりに食わせエサを付けるパターンでセット釣りでキマリ。釣果実績が高く、ビギナーでも楽しめます。



★管釣りのポイントはココ
魚が居着く所は、両極端で上か下。水深1mの浅ダナと底付近になります。また、魚が身を隠す桟橋の下やコーナーも狙い目と言えます。

仕掛けの振り込み方



仕掛けが軽いので、そっと運ぶイメージでサイドから振りこみましょう。思い切り振り込むと、仕掛けがブレて狙い通りのポイントへ入らず、エサも取れてしまいます。要注意です。



※かたづけ上手は、釣り上手！
返却日前日までに、しっかりお手入れを!!

レンタル釣具は、返却日までにはお手入れをし、元通りに梱包しましょう。また釣具にキズをつけたり、壊してしまった場合は、その箇所をメモに残して箱の中に入れてください。

ロッドをたたむ場合は…



バッド部の継ぎ目から順に外して行きませす。ジョイント部がキツク締まっている場合は、継ぎ目の部分を持ち、雑巾を絞るようにネジリながら引くとうまく抜けます。くれぐれも先端を持って外さないこと。穂先が折れるので要注意です!

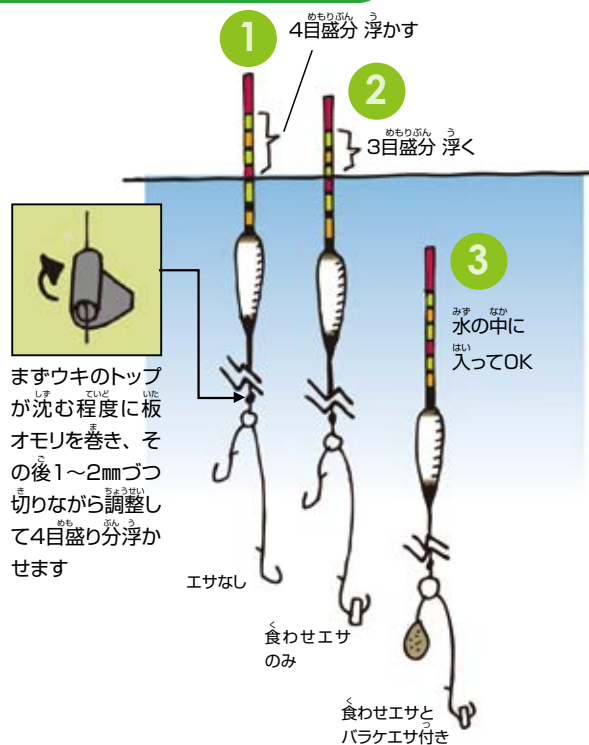
★釣り方のコツ：管理釣り場のヘラブナ編

攻略のキーポイントはウキ！ 浮力調整を完璧に行おう!!

完璧な浮力調整がヘラブナ釣りを制する！決して過言ではありません。ヘラブナは、エサを吸ったり吐いたりしながら食べます。ウキは、この習性をアタリとして伝えてくれるのももちろん、あらゆる情報を知らせてくれます。完璧なセッティングを覚え、リアルな情報をキャッチしましょう。

【浮力調整】

まず、エサが付いてない状態でのエサ落ち目盛りを決めます。基本はウキのトップが4目盛り分浮いた状態（最先端の赤い部分ではなく、黒い線で合わせる）にオモリで調整します。食わせエサのウドンを付けると、通常、1目盛り分下がりが、さらにバラケエサを付けた場合は水中に沈みますが、この状態から攻略が始まります。



まずウキのトップが沈む程度に板オモリを巻き、その後1~2mmづつ切りながら調整して4目盛り分浮かせませす

エサなし
食わせエサのみ
食わせエサとバラケエサ付き

水深1mの浅ダナ狙いから始める！ しっかり魚を寄せてから勝負!!



仕掛け投入後は、ウキが完全に水中に入ります。

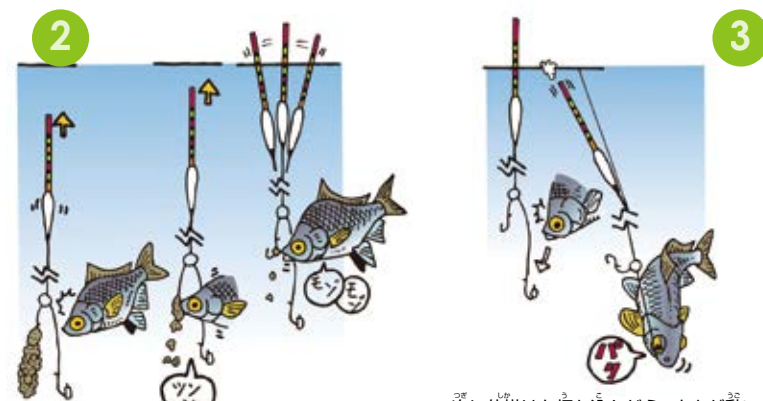


★食い渋る場合は誘いを入れて対応!

ウキのトップが3目盛りなのに、明確なアタリが出ない…。そんな場合は、誘いを入れてリアクションバイト（反射食い）で食わせましょう。手首のスナップを利かせて竿をチョンと動かすと、ウキと共にエサが一瞬、スライド。魚はエサが無くなると思い、思わず食いついてきます。

常にエサが投入される管理釣り場。活性が高い魚は、必然的に表層付近に集まります。まずここを攻めるのがセオリーとなりますが、管理釣り場では1m未満での釣りを禁止。攻略は、ウキ下1mから始めましょう。

バラケの途中でウキに変化が出ますが、そこでアワセを入れても魚は掛かりません。浮力調整で紹介した食わせエサの目盛りが現れるまで待ち、きちんと魚を寄せきってからフッキングに持ち込みます。攻略までの流れを紹介しましょう。



次に仕掛けを打ち込んだら、ウキが動いている時間を我慢。ウドンだけが残る3目盛りになるのを待ちます。バラケが無くなったと気付いた魚は、必ず食わせエサに反応。スバッとウキが消し込むアタリを出すので、そこでアワセを入れましょう。

魚がバラケエサに反応。ツツツと突き始めます。そしてバラケが無くなるにつれ、ウキが浮上。水面を割って出てきます。その後、ウキの目盛りがトップから2目盛り程度で上下左右に動きまわりますが（バラケエサがまだ付いている状態）ここで仕掛けを回収。これを2回くらい行い、十分に魚を寄せませす。

バラケエサの作り方と付け方



配合は「氷」カップ1杯（180ml）に対して、「ペレ匠ダンゴ」1杯、「セットバラケ鬼武者」2杯、「セットバラケ若武者」2杯を耳たぶの柔らかさ程度にごねます。ハリ付けは、5円玉程度の大きさに丸め、ハリのチモトを隠すようにしっかり押さえます。エサ持ちを良くするこのひと手間が重要です。

食わせエサの付け方



スティックウドンの中央部をハサミでカット。切り口を、水をはったボールの中に入れて押し出します。その後は、水に濡したスポンジの上に移動。5mm角に切ってハリにチョン掛けします。この際、ハリ先を少々出すのがコツです。

アワセから取り込みまでを覚えよう!



●アワセ

ウキの変化を捉えたら、手首のスナップでアワセるのではなく、竿を一瞬持ち上げ、先方に多少スライドさせませす。この動きだけでも、竿先が鋭く跳ね上がり、フッキングを確実にに行います。

最近の竿はとにかく高性能です。いろいろなアクションを起こさずとも、魚を弱らせ、そして魚を浮かせてくれます。ここでは理想的なアワセから取り込みまでを紹介しませす。

●ファイト

アングラーはアワセた位置をキープしてただけで構いません。竿が魚の走りや吸収。竿の反発力で次第に浮上。水面まで上がって空気を吸うとおとなしくなませす。



●寄せと取り込み



魚が浮上したら、そのままの姿勢を保ち、腕を伸ばしたまま後方50度くらいの位置にゆっくり持って行き寄せませす。なお、取り込みは、魚の頭からタモに入れてすくませませす。